

統計メールニュース No.1819(2025.12.12)

このメールは、配信登録された方に無料で送信しています。

このアドレスは、配信専用です。このメッセージに返信しないようお願いいたします。

【本日の公表データ】

■2025年(令和7年)科学技術研究調査結果

《研究費》

○2024年度の科学技術研究費(以下「研究費」という。)は、23兆7925億円(対前年度比7.9%増)で、4年連続で増加し、過去最高

○国内総生産(GDP)に対する研究費の比率は、3.70%と前年度に比べ0.14ポイント上昇

○研究費を研究主体別にみると、企業が17兆4303億円(対前年度比8.1%増)と最も多く、大学等が4兆496億円(同2.9%増)、非営利団体・公的機関が2兆3126億円(同16.0%増)

○企業の研究費を産業別にみると、「輸送用機械器具製造業」が5兆1011億円(対前年度比15.0%増)と最も多く、次いで「医薬品製造業」が1兆6607億円(同7.9%増)、「電子部品・デバイス・電子回路製造業」が1兆4346億円(同4.7%増)など

《研究者数》

○2025年3月31日現在の研究者数は、91万2800人(対前年度比0.6%増)で、2年ぶりに増加し、過去最多

○研究者1人当たりの研究費は、2607万円(対前年度比7.3%増)で、4年連続で増加し、過去最高

○女性研究者数(実数)は、19万400人(対前年度比4.2%増)で2年ぶりに増加。研究者全体に占める割合は19.0%(前年度に比べ0.5ポイント上昇)と過去最高

<https://www.stat.go.jp/data/kagaku/kekka/index.html>

□労働力調査、家計調査、小売物価統計調査を始めとした統計調査へのご理解・ご協力をお願いします。

「気になる数々、答えて未来へ」(統計調査紹介ムービー)

<https://youtu.be/baaF8ScHjis>

□「誰でも使える統計オープンデータ」受講者募集中!

令和8年1月13日(火)に開講するデータサイエンス・オンライン講座「誰でも使える統計オープンデータ」の受講者を募集中です。誰でも無料で学ぶことができます。

統計オープンデータを活用したデータ分析の手法を分かりやすく解説する講座です。是非御受講ください。

<https://gacco.org/stat-japan3/>

配信先の変更・配信中止・パスワードの再発行など

<https://www.stat.go.jp/info/mail/index.html>

※統計データの入手先に関する問い合わせ、統計調査に関するQ&A

<https://www.stat.go.jp/training/toshokan/faq.html>

=====

このメールにお心当たりがない方は、大変お手数ですが下記までご連絡ください。
総務省統計局統計情報利用推進課
stat_m-news@soumu.go.jp